



# 鳥取県米子市における 「子ども第三の居場所」コミュニティモデル の支援事業

te to te  
～つなぐ<sup>ち</sup>家～



## 2023年度支援事業報告書

一般社団法人 つなぐプロジェクト

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION



## 1.事業計画

### (1) 【目的】

「子ども第三の居場所」拠点に通う子ども達により豊かな体験機会を提供し、子ども達の「生き抜く力」を育む

### (2) 【目標】

- 1.拠点での宿泊体験会の実施
- 2.発達・療育促進のための木育環境の整備
- 3.ITを活用した運動環境の整備

### (3) 【事業内容】

#### 1.拠点での宿泊体験会

(1)期間:2023年8月25日実施予定

(2)場所:鳥取県米子市

(3)対象:子ども30人、大人15人

(4)内容:不登校・発達障害、生活

困窮等の理由により宿泊機会の少ない子ども達が、日頃過ごしている拠点で宿泊までの経験を積むことで、自己肯定感の向上を図り自立心を育む。宿泊体験に必要な、入浴や食事提供、備品のレンタルを行う。

#### 2.発達・療育促進のための木育環境整備

(1)期間:2023年7月、10月実施予定

(2)場所:鳥取県米子市

(3)対象:子ども30人、大人10人

(4)内容:不登校・発達障害・ネグレク

ト等の理由により発育・療育に遅れが見られる子ども達に木育を通して、木を活用したおもちゃや家具とそれに携わる職人の方との触れ合う。





子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む。木の絵本や玩具などの購入、職人の方を招いた触れ合いの交流会を実施するために必要な備品の購入を行う。

### 3.ITを活用した運動環境整備

(1)期間:2023年7月～9月の夏休み期間

(2)場所:鳥取県米子市

(3)対象:子ども30人、大人5人

(4)内容:毎日の運動時間が不足している不登校児、発達障害の特徴として見られる体幹の弱さを改善するために、子ども達が基礎的な体力をつけるための備品の購入を行う。





## 2 事業実績

### 1) 拠点での宿泊体験会

(1) 期間: 2023年8月25日～26日

(2) 場所: 鳥取県米子市

(3) 参加: 子ども14人、ボランティア7人、スタッフ4人

(4) 内容

- ・ 25日スケジュール

09:00～18:00 通常利用

18:00～19:00 合宿開始、就寝・入浴準備

19:00～20:00 食事（米子地ビールフェスタ会場で、寄付活動を行いながらte to teブースでの食事）

20:00～21:00 グッドブレスガーデンにて入浴

21:00～21:30 枕投げ

22:00～ 就寝

- ・ 26日スケジュール

07:00～07:30 起床（洗顔や着替えなど）

07:30～08:30 朝食

08:30～10:00 片付け 解散

- ・ te to te ～つなぐん家～初の夏合宿。te to teを利用している子ども達は、課題を持つ子どもばかりではなく、課題を持たない子もいます。

この合宿を企画したのは、家庭内で生きづらさを感じ、色々な形で発散してしまうお子さんがいて、両親や祖父母を毛嫌いしながらも修学旅行など学校の宿泊イベントに行く事ができない子がいて、なんとか家庭内だけでなく外に目を向ける、社会を知るきっかけがないかと考えた事がきっかけとなりました。





合宿を計画する中、te to teの利用者の課題を持つ子どもの9割が、親と離れて外泊をした経験がないことがわかりました。その理由を子ども達に尋ねてみると、「お金がないから」「親が怒ってまた叩かれるかもしれない」「家から出るともう家に入れてもらえないかもしれない」「お母さんと一緒じゃないと寝られない」「暴れてしまうかもしれない」などの回答がありました。

そんな中、どのような背景や理由を持っていようと、なかろうと単純にte to teの利用者として子ども達同士また、ボランティアの方や地域の方々と交流し仲間として過ごせる機会を得て、一人ではない仲間がいる、外の世界は広いこと、自分でできる事を見つける、自立するきっかけが必要だと考え合宿を開催しました。

親御さんへの周知、任意参加であるけれどもご理解と協力をお願いしたところ、会員38名中14名が参加する事ができました。参加者は8割が課題を持つ子ども、2割が課題を持たない子どもとなりました。不参加の理由は、やはり親御さんから離れる事の難しさを感じた子ども、夏休み中ご両親の実家で過ごしている、部活などでした。

子ども達は、朝からハイテンションでしたが、いよいよ合宿となると少し緊張の面持ち。夕食や入浴は、角盤町商店街振興組合、地元企業、地ビールフェスタin YONAGO実行委員会の協力を経て、地ビールフェスタにte to teブースを設けてくださり、寄付活動を行いながら夕食。

夕食は、地ビールフェスタ会場にある食のブースで事前に配布したチケットでそれぞれが食べてみたいものを買ってブースで食べました。初めて食べるもの、食べてみたかったもの、子ども達は嬉しくて仕方ない様子でしたが、印象的だったのは、子ども同士で「これも食べてみない」と自分の分を分け合いながら食べて、美味しいさ共感していること。





そして、ボランティアの人にもねえこれ食べてみてと嬉しそうに進めていました。これまで、自分の事しか考えられなかった子ども達。分け合ったり、人に勧めるなんてもっと先の未来に得られたらそれで十分と考えていましたが、目の前で自然に分け合う姿を見て、合宿をやって良かったと思いました。

入浴では、お風呂の入り方がわからない、体を自分で洗った事がない、いつも自分で洗っているけど洗えてない子ども、外のお風呂に入りに行った事がない子、色々でした。

大浴場でのマナー、体の洗い方一つ一つが子ども達の良い経験となりました。お風呂から上がると、これから一人でちゃんとお風呂に入れるよと嬉しそうに教えてくれました。

夜は、子ども達の憧れの枕投げ大会。大人も子どもも真剣勝負です。これが、友達と過ごせる楽しさなんだねと話す子どももいました。

朝食は、朝ごはんを家で食べた事がない子もいて、朝ごはんってこういうものなんだぁと話す子どももいました。

この度の合宿は、子ども達にとって様々な体験を通し心を豊かにできた事は間違いないと確信しております。

そして、サポートしている大人達にとっては、子ども達から現状を教えてもらう機会となりました。

今後もte to teでは、継続して合宿を行なっていく予定です。

支援いただいた皆様のお力添えでこのような貴重な機会をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

この4月おかげさまで無事に全員が学校に登校する事ができました。そして、夏休みの合宿を今度は参加する！と前回参加できなかった子ども達もすごく楽しみにしています。





8月25日 いよいよ合宿スタート！！



さーていよいよ入浴タイム！  
受付していざお風呂へ！！

チケットを片手に夕食  
「次は何を食べようかなぁ」



お待たせしました、枕投げ！！  
大人も参戦して必死に戦いました！！



おやすみなさーい🌙



8月26日 元気に朝食タイム！





## 1) 拠点での宿泊体験会

(1) 期間: 2023年10月7日～8日

(2) 場所: 鳥取県米子市

(3) 参加: 4人、ボランティア1人、スタッフ3人

(4) 内容

中学生以上の会員4名が自分達で企画・計画・実行・レポートまでの流れを決め実行に移す宿泊体験を実行しました。

中学生以上の宿泊体験を企画した背景は、8月25日に行った宿泊体験の内容が小学生中心のものであり、中学生以上の会員は自然と小学生をサポートしてしまい、結果自分達なりに楽しむ事が難しかったため、中学生以上で話し合いもう一度宿泊体験をさせて欲しいと熱い要望がありました。

そこで、ただ宿泊体験をしたいという思いでは許可する事ができない事、自分達で話し合っただけで要望を出したのであれば、企画から体験後の感想（レポート）までを協力して成し遂げることを条件としました。

この経験を得た子ども達は、自己肯定感が向上しそれぞれ自分で考え行動に移せるようになりました。中には大学を志し無事に4月から大学生となりました。将来は当拠点のスタッフを目指すそうです。また高校3年生で将来に希望を持ってないと言っていた子が、やればできると思えるようになったそうで、現在当拠点のボランティアスタッフとなり、石原理事（プログラマー）の元で勉強に励み、当拠点のプログラマーを目指すようになりました。

以下、会員が提出してきた企画からレポートまでの内容を10月に行った事業報告として記載いたします。







## 【企画・計画】

### ● 目的

自分たちは他の人たちと比べると、学校や社会に接する時間が少ないので、他の人たちと比べると、経験不足です。なので今回のお泊まり会を通じて、初めて会う人と接する、自分たちで計画を立て実行するなどの普段はしないことをすることを社会体験に繋げ、経験不足を補うチャンスにしたいと考えています。それに加え、今回お泊まり会に参加していない、小学生も自分たちのように経験不足の状態であると考えており、他の子達にもにもいろいろなことを経験してもらいたいと思っています。なので、今回のお泊まり会などの経験を積む機会を次の世代の子に繋ぐためのマニュアル作りのためにも必要だと考えています。

### ● 予算

1. 全体 111180円
2. 自遊空間  
入会金 $350 \times 8 = 2800$ 円  $1860 \times 8 = 14880$ 円  
合計17680円
3. ワシントンホテル  
食事  $5500 \times 8 = 44000$ 円 ドリンク代 $1500 \times 6 = 9000$ 円  
合計51000円
4. お風呂  $1500 \times 7 = 10500$ 円
5. レンタカー 30000円
6. 個人 $3000$ 円 $\times 6 = 18000$ 円

### ● 2日目代替案

1. 円形劇場くらよしフィギュアミュージアム  
<https://onl.tw/rXmubSm>  
車約60分、2000円～、予約OK
2. 「あとりえgtp」 松江ごころ  
<https://onl.tw/kS5QmKS>  
車約60分、1540円～、予約OK





3. 境港水木しげるロード「あとりえgtp」  
<https://onl.tw/xURawXp>  
車約30分、1200円～、予約OK
4. 法勝寺焼松花窯  
<https://onl.tw/vWYKzkY>  
車約20分、3300円～、予約OK
5. 松江フォーゲルパーク  
<https://onl.tw/CCC1gjr>  
車約60分、1650円、予約したら1490円

## ● スケジュール

### 1日目

- ～10:00 集合
- 10:30～16:30 自遊空間で遊ぶ
- 18:00～20:00 ワシントンホテルで食事
- 20:30～21:30 自遊空間でお風呂
- 21:30～22:00 自由時間
- ～22:00 就寝

### 2日目

- ～05:00起床←釣りの場合  
(釣り中止の場合は代替案を適用)
- 05:00～06:00 朝の準備
- 06:00～07:00 港まで移動
- 07:00～07:30 説明
- 07:30～08:30 「りんごさん」 チーム釣り出発
- 09:00～10:00 「ぶどうさん」 チーム釣り出発
- 10:00～11:00 普通に釣り
- 11:00～12:00 お昼ご飯調理
- 12:00～13:00 お昼
- 13:30～14:30 tetoteへ移動
- 15:00～ 解散





## 【実行するための理事会へのお願い文書】

理事の先生達へ

### 【合宿のお願いと目的】

自分たちは、同学年ぐらいの人達と比べると学校や社会に接する経験が少ないと認識しています。また、親の手助けを同学年の人たちより多く必要として成長してきたようにも感じています。

今回、中・高生チームで合宿を希望した理由は、自分の事は自分ですることはもちろん、自分たちでやりたいことを一から計画を立て実施してみたいと考えました。そして、この合宿の中で、te to te 以外の大人の人など初めて会う人と接する経験、社会体験を得て、同学年ぐらいの人達が経験しているものに近いものを自分たちも知り経験不足を補うチャンスにしたいと考えています。

そして、今回お泊まり会に参加していない、te to te の小学生達も普段接していると思うことは、自分たちのように経験が足りないなあと思っています。他の子達にも色々なことを経験できるチャンスがあればと考えています。今回の合宿がこれから先も te to te のイベントとなって欲しい。そのためにも、失敗するかもしれませんが、今回の合宿で実践してみて、よかった事、悪かった事などをまとめ、次の世代の子に繋ぐためのマニュアルを作りたいと考えています。

どうか、理事の先生達、自分たちの企画した合宿を実施できるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【スケジュール】

10月7日（土）～8日（日）

○ 1日目

10:00            te to te に集合

10:30～16:30  自遊空間で遊ぶ

※ 自分たちは外で友達と遊ぶ経験がほとんどありません。そして、行ってみたい場所があっても、親と一緒に行く場所も限られています。自由空間には、自分たちが経験したことがない、ゲームや遊びがコンパクトにまとまっていて、te to te にも近く緊張しにくい場所です。企業の方にも自分たちで相談し協力いただけることになりました。





18:00~20:00 ワシントンホテルで食事

※家族以外と食事をする経験も少なく、食事のマナーをほとんど知りません。正直 te to te で学んでいる最中でもあります。社会に出て恥ずかしくないような正式な食事のマナーを知りたいと考えました。今川さんの協力のもと、ワシントンホテルの方に相談したところ、ご快諾いただきました。食事のマナーだけでなく、サービス業の方がどのような仕事、作法をされているかも含め学ばせてください。

20:30~21:30 グッドブレスガーデンで入浴

21:30~~22:00 就寝準備

22:00 就寝

○ 2日目

※あお君の提案と船を持っておられる方からお申し出をいただき、船釣り体験をします！海の近い住んでいながら、釣りの経験がありません。当然船に乗ったこともありません。船釣りがどんなものなのかを経験してみたいです。そんな中、あお君の紹介で自分たちに無償で協力してくださるとお申し出をいただきました。初めて会う大人の方とどう接していいのかわかりませんが、このチャンスを活かし、初対面の方との接し方、大海原を体験しながら学びたいです。

05:00 起床

05:00~06:00 出かける準備

06:00~07:00 港まで移動

07:00~07:30 釣りや船の上の過ごし方を教えてもらう

07:30~08:30 「りんごさんチーム」(チーム仮名称) 出発

09:00~10:00 「ぶどうさんチーム」(チーム仮名称) 出発

※ 一隻が2往復してくださり、一回に3名まで乗船できるようなので、2チームに分けました。1チームを待っている間は、陸釣り体験ができればな





あと考えています。

10:00~11:00 予備時間

11:00~12:00 お昼ご飯調理（釣った魚を調理。初魚調理体験です！！）

12:00~13:00 お昼

13:30~14:30tetote へ移動

15:00~解散

**【予算】**

- ・自由空間  
2,210 円×8名 = 17,680 円
- ・ワシントンホテル  
7,000 円×8名 = 56,000 円
- ・入浴  
1,500 円×8名 = 12,000 円
- ・レンタカー  
30,000 円

合計 115,680 円

土日ということもあり、ご家庭の事情、またはお仕事でお忙しいとは存じますが、もし、ご参加いただけるようでしたら、小学生チームだけでなく、自分達とも遊んでいただけると嬉しいです！！

よろしく願いいたします。





## 【合宿後のレポート】

※全員提出がりましたが、まとめ役の会員のものを代表で記載いたします

今回のお泊まり会を振り返ると自分の経験不足が顕著に現れたことが二つと、大きな失敗が二つあったわ。まず経験不足の一つ目については、スケジュールのドキュメントの書き方。二つ目については、雨の日のプランが作成されていなかったこと。次に、大きな失敗の一つ目はワシントンホテルの予約が、1週間前になってしまったこと。二つ目は上と同じで、プランの作成の失敗。

まず時系列に沿って順番に振り返るとしたら最初は8月下旬にした中高生のお泊まり会の会議からになるのかな？この時は、いつもと違って珍しくリアルでの会議をしたわ。なんか新鮮な感覚だったよ。それで、最終的にいろんな意見が出たわ。和尚さん家に泊まる意見とか、トムソーヤ牧場に行くとかゲーセンとか。あと、この会議のホワイトボードを見てて気づいたんだけど、体験教室がこの時点でもう出てたんだね。今気づいたわ。

会議の進行に関しては最初はともきくんがファシリをして自分が書記をしたんだけど、このままじゃみんなの意見を引き出すことができずに、会議が進まないと思ったから途中からは自分がファシリをしたわ。この時は話し合いを進めることと意見を引き出すことを重視してたから考えてなかったんだけど、後から考えればともきくんの役職を奪ってしまったんじゃないかなって思ってちょっと申し訳なく思ったわ。でもその後今川さんと話してて、自分がファシらないと会議が進まなかったって今川さんも思ってたみたいだわ。だけん、最終的にはあれが最適解でちゃんと自分はいい感じに立ち回れたんじゃないかなって思ってる。まず、これがこの会議でうまくやれたと思ってること。

それで、ダメだったところは、二つあったわ。まず、どこまで決めればいいかを聞くor自分たちで決めとくべきだったわ。どこまで決めるかが決まってない状態のことを言い換えれば、会議の目的がはっきりしてないって言い換えることができるんだよね。だからまず、すべきことは、今川さんにどこまで決めればいいかを聞くか、自分たちで、どこまで決めるかを話し合うべきだったわ。たとえば、することを決めるのか、それとも、1回目の会議だったから、何をしたいかを書き出すだけで終了にするか、とりあえず日程だけでも決めるとかでもよかったのかもしれん。





次に、会議の雰囲気。率直に言えば、ともきくと自分以外の会議への意欲が少ないと感じたわ。でも実際、会議って、ファシリと書記以外は結構暇だったりする。これの対策としてそれぞれしたいことを書き出す、または、各自でプランを作る、それを収集し、それを見てひとまずプランを作ってしまう。それをみんなに見せて、そのプランについての会議をしてそれぞれが納得でき、参加したいと思えるプランに持っていく。この方法だったら今回より会議に参加しやすかったわ。

まず、これらが会議の感想。振り返ってみると、まず会議から入るんじゃなくて、お泊まり会の概要だけを説明して、各自でしたいことを書き出す、またはプランを考えてから色々始めていく方が面白かったかもしれんわ。

その次に振り返ることとしては、会議が終わってからしばらく何もしてない期間があったんだよね。これがすごく口スだったのは考えるまでもないわ。この時間で、考えられることがたくさんあったわ。ワシントンホテルの食事をしたいなら、自分だけでワシントンホテルの時間だけでも決めてしまい、そのことについての了解をみんなから得しだい予約をとってしまふことができたわ。そうすれば、お泊まり会1週間前で岩田さん（ワシントン担当者）との話し合いになることはなかったし、少なくとも、3週間前の予約には持って行けたはず。でも、これから予約するときは絶対に一ヶ月前には予約をとってしまいたいかな。まず、これが大きな失敗の一つ目。

時系列的に行けば、次に書くことは久々に集まって会議をした時になるんかな。この時に自遊空間行くこと、ワシントンホテルで食事をする事、船釣りに行くことがきまって、日程については変更せずに、10/7～10/8でやることが決まったんだよね。

本当にすぐ決まったわ。でもすぐ決まったから、これはみんなが納得できる結果になったかがわからないんだよね。率直にいうと今回は決めることを重視した会議になってたと思ってるわ。決めることを重視した会議って、メリットとデメリットがそれぞれあるんだよね、まずメリットはとりあえず決めることはしやすい。でも、デメリットとして、それぞれの意見をしっかり聞いて合意形成することがしづらい会議になるんだよね。今回はそのメリットデメリットが顕著に現れたと考へてるわ。合意形成がしっかりとできてない状態って、みんなが幾らかの満足のいってない部分があるって言えるんだけど、今回の会議はそうなたんじやないかなって、今振り返ってみるとそう思うわ。女子二人の不参加がもしかしたらこ





れにつながってるのかもしれない。自分は不参加の理由を知らないから断言ができないんだけど、もしかしたら女子二人が参加したいって思えるものを作れていなかったのかもしれない。追記ゆうかは部活だったらしい。

今振り返ると、この会議はみんながそれぞれどう思ってるかをしっかり聞く時間がなかったわ。こういうところも、何もしてない3週間の間に少しは自分でプランを作つといてそれを提示し、それについてどう思うかを聞く方が、まだそれぞれ個人の意見を汲み取る時間があつたと思うと大きな反省点があるのが否めんわ。

それとこの日にあつたことといえば、自分がスケジュールをとりあえず書き始めたんだよね。書く量はそこまで多くなかったから1日でできたんだけど、1日で書いたせいかすごく荒削りだったわ。振り返れば必要なことがほとんど書かれてなかったんだよね。最終的に出来上がったのと比べてみたら、スケジュールの部分と持ってくる物ぐらいしか書いてなかったわ。特に※の部分がぜんぜん。今川さんと※の部分をやつたんだけど、この部分はおんぶに抱っこって感じ。でも後藤理事に予算を出してもらうなら、それぞれのプランをする意味の提示が絶対に必要だったわ。

次からは自分の力だけである程度出来るように、今回提出した文章について考えてみたんだけど、※の部分に共通してることがあつたわ。最初に現状の提示、その次になぜそのプランが現状の解決に適してるかを書いてたわ。他には「合宿の目的とお願い」の部分は最初に自分が書いた内容とは同じなんだけど、やっぱり今川さんと一緒に修正した方が説得力があるように感じるわ。でも、何がどう違うかを聞かれたらなんて答えればいいかが分からん。

あと細かいけれど、時間の書き方のところでわざわざ行を変えてたんだよね。すごく謎なんだけど、普通に一行で書いてしまった方がよかったわ。それと最後の後藤理事と和尚さんをお泊まり会に誘う文章が自分が作つたやつにはなかったんだよね。これがないと、来てくれなかったかもしれん、、、

振り返ってみると自分が作つたスケジュールは誰かに提出するってことをちゃんと考えてなかったわ。だけん、これからは誰かに提出し、そのプランについて納得させるってことをしっかり考えて作らんといけんかったわ。それが今回作つたやつには欠けてた部分。







そんな感じでお泊まり会の準備が色々進んでいったんだけど、ここですごく重要な情報が入ってきたんだよね。釣りの日に雨が降るかもって話。この時は、海が荒れなければ船は出せるって話だったし、船が出せなくなっても陸釣りをすればよかった。それに、わざわざ船とか色々なものを善意で用意してもらってるのにキャンセルを入れるのが申し訳なかったし、レンタカーのキャンセル料がかかるかもって話もあったしで、結局そのまま釣りにすることにしたんだけど、ここまできたら、予想が外れて今以上に状態が悪くなって船が出せなくなってしまい、最終的に陸釣りも危なくなることを想定し、雨の日のプランを作り始めるといけなかったわ。いや、雨の日のプランは最初から考えていないといけなかったはず。最初の会議の時点から考えることができたのに。

船も出せない、陸釣りも危険ってなるまで、雨の日のプランを作ることが思いつかなかったのかわからない。あと、断るってことに踏み切れなかったのも反省しないとイケないわ。これが大きな失敗の二つ目で、自分の経験不足が顕著に現れた部分だったわ。

それで、木曜日の午後に、あおくんから陸釣りも危ないかもしれないからどうするかを金曜日に話し合わないかって連絡が来たんだよね。連絡が来た後すぐにどうするかを考えてみたわ。それで、塾の先生とか、親とかに話してみて、体験教室とかいいんじゃないかってなったけん、それから6人分の予約が直前でも取れる体験教室をピックアップしたわ。この対応は良かったわ。

それで、金曜日に集まって最終的には、ガラス作り体験と、出雲そばと、松江フォーゲルパークに行くことになったわ。この時、自遊空間代と、お風呂代が浮いてて予算的にはなんとかなったんだけど、もしここで予算の余りがなかったらって考えたらぞっとするわ。実際予算が足りないときってどうすればいいんだろ？

出雲そばのことなんだけど、リサーチ不足感が否めない結果になったわ。最初はガラス作り体験から近いところで蕎麦屋さんをさがして、「出雲そば処八雲庵」「神代そば」「出雲そばきがる」が候補に上がったんだよね。そのあと、ワシントンホテルで堀江さんと和尚さんに「中国山地蕎麦工房ふなつ」をおすすめしてもらったわ。そのなかで、最初は口コミ数が一番多い「八雲庵」に行こうってなったわ。

ここの反省点として、「出雲そば処八雲庵」「神代そば」「出雲そばきがる」「中国山地蕎麦工房ふなつ」の四つが意見にでたけん、運転手のいっぴーにスムーズに伝えられるよう





に、それぞれの住所と駐車場を事前にしっかりどっかに控えとくべきだったわ。そうすれば、車の中でいちいち調べる必要がなかった。それと「出雲そば処八雲庵」は、どちらかという、観光客向けの、お店っていうことを把握しとくべきだったわ。

こんな感じで当日までに、いろいろあったわ。今振り返るとやっぱ経験不足が否めないなって実感する。特に雨の日のプランを作ってなかったことに経験不足を感じたわ。

お泊まり会1日目は結構うまく行ってたわ。シンプルに楽しかったし。でも、強いていうなら自遊空間の会員登録に少し時間がかかったぐらいかな？事前に会員登録ができないかを調べられてたらベストだったかも。実際向こうで登録したとき、ほとんどスマホでやったし。それ以外だったら普通に楽しく遊べたわ。ビリヤードが一番楽しかったわ。

自遊空間をでてからワシントンホテルに行くときは、車の中でなんかめちゃくちゃ盛り上がったわ。案外四人一列でも乗れるんだね。

ワシントンホテルでは色々なことを学んだわ。特にテーブルマナー。和食店なのに、自分のわがままで洋食の料理を作ってくれたり、色々なわがまを聞いてくれてすごく感謝してるわ。

肝心の学んだことなんだけど箇条書きするわ。

- 入り口側が下座、入り口から遠いところが上座
- ナプキンは、二つに折って折り目が自分側、びらびらが机側
- 離席する時はナプキンを畳み、椅子にかける
- 乾杯はグラスどうしをぶつけない
- 音を立て食事をしない
- ナイフ、フォーク、スプーンなどは端から使う
- 奥にあるスプーンはデザート用
- 食器は落としても拾って使わずにスタッフを呼ぶ
- スープは絶対にすすらない
- スープは持ち上げない
- スープをすくう時は手前から奥
- スープが少なくなってすくえなくなったら奥に傾けてすくう
- お造りに醤油を直でかけない





- ツマは無理して食べる必要はない
- お肉の焼き加減を聞かれる
- お肉の焼き加減はレア、ミディアム、ウェルダンしか覚えてないけん調べてみたらロー、ブルー、ブルーレア、レア、ミディアムレア、ミディアム、ミディアムウェル、ウェル、ウェルダン、ベリーウェルダンがあるみたい。自分はレア派
- 食事が終わったら食器はお皿の上に置く。途中の場合はフォークとナイフをお皿の端にハの字で置く
- 食事が終わりナプキンを置く時はきっちり揃えてるんじゃなくてある程度雑に、なんならたたまなくてもいい。このテーブルマナーがすごく意外、やっぱ綺麗にたたみたくなってしまうわ。

あと、服装についてなんだけど、あおくんがスーツだったのがなんか新鮮だったわ。新卒の人って言われても違和感がないくらい。自分はア口八だったわ。とりあえず、ア口八でもいいんだね。でも、やっぱりワシントンホテルとかに行くんだったらスーツとかの方がよさそう。でも、友達と行くって感じならべつに、今回みたいな服装でも大丈夫そうな気もする。

そのあとは、寝るだけだったんだけど、寝るだけだったわ。なんだかんだあって最終的に寝たのが、12時ぐらいになるのかな？サッカー見たりしてたら遅くなったわ。それに韓国に負けたわ。寝袋あったかかった。何なら少し暑いぐらいだったかも。

朝は07:30頃が起床時間だったわ。でも自分は07:00に起きて、顔洗って服を着替えたり寝袋をたたんだりしてたわ。それでなんだかんだしてたら、起床時間になって、みんなを起こしにいったわ。そのあとは、朝ごはんを食べたわ。スープあったかかったわ。温かいものが朝から食べれて嬉しかったわ。朝ごはん作ってくれてありがとう。

それから色々用意をして09:00頃に出発したわ。コンビニに寄って飲み物をかったりしてから、高速にのったわ。高速にのってからは寝てたけん、何もわからん。強いていうなら首が痛かったわ。

それから多分4.50分ぐらいたってたと思うんだけど、「『あとリエgtp』松江ごころ」についてたわ。それで、お店が開くまでに時間があつたから少し歩いたわ。松江城のお堀の遊覧船が流れて行ってたわ。なんかしらんけど、手を振ってみたら遊覧船の人たちが手を振っ





てくれたけんなんか、和んだわ。そのあとは、怪談の人の銅像を見つけたり、長方形のランタンのところで写真を撮ろうとしたりして、お店が開くまでぶらぶらしてたわ。

お店が開いて中に入ってみると、工房っていうよりは、普通のお土産屋さんって感じだったわ。それでも奥の方にちゃんと体験教室みたいなのがあって、そこに案内されたわ。そのあとは、まず、型を作るんだけど、白い厚紙みたいなやつにペンで型の枠を書き込んだわ。こういうの作るときすごく緊張するんだよね。ちなみに、しずくの形にしたわ。次にペンで書いた枠に沿って型を切り出したわ。なにげに硬かった。そのあとに、切り出した型の下に厚紙をつけて、型にヒモを通す穴の場所に円柱の綿みたいなものを置いたわ。ちなみに、ペンダントの裏に金具をつけて、それに紐を通す方法もあったわ。それ以外の場所に、小さなガラスの円柱をのせたわ。自分はしずく上の部分を薄い色にして下の方を濃い色にして、上から下へと徐々に変わるようにしたわ。でも、何となくそんなにうまくはいかん気がする。

そのあとは、お昼をたべたわ。まず「『あとりえgtp』松江ごころ」から「出雲そば処八雲庵」がみえたんだけど、まだ開店時間じゃないのに並んでたわ。それもかなりの数。だけん予定変更して、ワシントンホテルで、堀江さんと和尚さんにおすすめされた、「中国山地蕎麦工房ふなつ」にいったわ。このときにちゃんと住所と駐車場を控えておけば、スムーズに移動ができたのに。

「中国山地蕎麦工房ふなつ」の蕎麦はすごかったわ。まず、見た目が全然違うんだよね。なんていうか、普通のそばってまっすぐだけど、ここのそばは、ちじれてるっていうのかな？まっすぐじゃなかったわ。そばの食感が固かったけん、茹で時間が短かったりして。今度行ったときは山かけそばにしてみてもいいかも。

午後からは「松江フォーゲルパーク」に行ったわ。「中国山地蕎麦工房ふなつ」からの移動中も寝てたわ。ご飯食べたけんめちゃくちゃ眠かったわ。だけん、「松江フォーゲルパーク」からtetote帰るまでのあいだも寝てたわ。本当にぐっすり。起きたときなにがなんだか分からなかったわ。立体駐車場に着いたとき、お泊まり会で松江に行ってたってことを理解するのに少し時間がかかったわ。

肝心の「松江フォーゲルパーク」のことなんだけど、印象に残ってることが何個もあったわ。まず一つ目はお土産の店とかフードコートとかがあるエリア。花が上から吊るしてあるんだけど、その光景がすごく綺麗だったわ。普通花って下から生えてくるものじゃん、なの





に、ここでは上から下へ伸びてるんだよね。花が降ってくるみたいで綺麗だったわ。二つ目はエスカレーターのスロープ版みたいなやつの手すりと地面の速度があってなかったことだわ。地味に手すりの方が早いせいで徐々に前屈みになっていって、マイケルジャクソンみたいになっていくのがおもしろかったわ。三つ目はアイスの味。やっぱ、こういうところで食べるアイスと違ってめちゃくちゃ美味しいわ。巨峰のアイスを食べただけで、美味しかったわ。たぶん、味自体は他の場所と同じなんだろうけどさ、それでも、美味しかったわ。やっぱ雰囲気は大事。

「松江フォーゲルパーク」が終わったあとは普通にtetoteに帰って、それから30分ほど、ただらしてから各自解散したわ。色々歩いたけん足の爪が痛かったわ。それでも、なんとか剥がれずにすんでよかったよ。そんな感じで誰も大きな怪我をせずに帰って来れたわ。

今回のお泊まり会を振り返ると、やっぱり経験不足が顕著に現れたわ。とくに、雨の日の想定がなかったのが一番経験不足を感じた部分。他にも9月の中旬あたりの何もしていなかった期間で、ワシントンホテルのことを進めてしまいたかったな。1週間前の予約になってしまったのがすごく申し訳ない。次からは少なくとも一ヶ月前には予約しておきたいわ。あとスケジュールについても誰かに提出する物っていう認識をしっかりとっておく必要があったわ。

こんな感じで、色々振り返ったあとに、もし雨が降らずに最初の予定通りに、船釣りが出来たらの事を考えてみたわ。それで、結果からしたら、船釣りした場合、流石に朝が早すぎるわ。予定では5時起きなんだけどそんなに早いと前日の夜のプランに制限が出来てしまうんだよね。夜に映画を見たり枕投げしたりとかが出来なくなってしまうわ。それにシンプルに5時起きだと寝不足になる。もし寝不足からの不注意で事故とかが起きたら大変だけん、今の時間から2、3時間遅らせたり、そもそもしないってことにするなどのプランの見直しが必要だと思う。

それでも、なんとか何事もなく平和にお泊まり会がおわって良かったわ。今回みたいに自分たちでプランを考えて実行する機会がもらえてすごく嬉しいです。これからも今回みたいに自分たちでプランを作りたいし、次からはちゃんと雨の日とかの想定もして、理事さん達の手をあまり借りずに色々な企画を自分達で作りたいです。理事の皆様、今回の機会を与えてもらったり、色々なサポートをしてくれてありがとうございます。





以上が10月に行った合宿の子ども達が作った資料となります。  
レポートは自分らしく書くことを提案し、文面も方言やしゃべり言葉で表現されていますが、本人の言葉で表現することにより素直な考え思いを知ることができました。  
子ども達にとっても良い経験となったかもしれませんが、スタッフにとっても子ども達の現状を知る良い機会となったことは言うまでもありません。

合宿スタート！ → 会員登録でアタフタ → 初めての卓球



勾玉作り体験 ← 2日目スタート ← テーブルマナー講座



松江フォーゲルパーク





## 2. 発達・療育促進のための木育環境整備と本を読む機会の提供

(1) 期間: 2023年10月10日、14日、11月～

(2) 場所: 鳥取県米子市

(3) 対象: 子ども15人、大人3人

(4) 内容: 不登校・発達障害・ネグレクト等の理由により発育・療育に遅れが見られる子ども達に木育を通して、木を活用したおもちゃや家具とそれに携わる職人の方と触れ合いました。その経験をもとに高校生が興味を持ち木育インストラクターを養成する講座を受講し、3名の木育インストラクターが誕生しました。現在そのうちの1名が拠点にてボランティアスタッフとして活動する傍ら、木育インストラクターとして、子ども達の遊びを展開しています。また、木育スペースでは様々な絵本を設置しそれぞれの発育にあった絵本の読み聞かや、療育のための絵本に触れ、木の温もりの中で落ち着いて集中を見せると同時に笑顔が増え本の内容を理解できるようになりました。本に興味を持ち始めた様子を見て、会員でもある木育インストラクターが提案したのが、近くにある漫画ミュージアムからte to teの子ども達に漫画を読めるよう協力する申し出があった事を思い出し、マンガミュージアムのご担当者と話をして動き出しました。漫画からでも得られるものが沢山あるはず。木育スペースは落ち着いて本を読める空間としても最適な場所。文字が読めない子が木育スペースでひらがなに興味を示し、今では絵本を読めるようになった。あそこなら本から逃げることないし、字を読むことが苦手な子でも漫画なら読めるかもと熱い気持ちで提案がありました。この提案をしてくれたのは、自身が発達障害を持ち、漢字を認識することに難しかった子です。そして、現在も会員でこの4月から大学生となり将来te to teのスタッフを目指し、子ども達のお兄ちゃんとして子ども達の面倒をみてくれています。合宿同様、自分たちでマンガミュージアムとやりとりし、完結することを条件に取り組んでもらいました。理事会へ申し出をした際の彼の文書を以下に事業報告の一部として記載いたします。





## 理事の先生達へ

### 【漫画ミュージアムの漫画を借りることの目的】

今回、株式会社ジョイアーバンさんより、漫画ミュージアムの漫画を te to te の子ども達が読めるように貸出してあげるよとお声がけをいただきました。とても嬉しいお声がけでしたが、どのようにしたらいいのか正直わからない事だらけです。そして、いつも理事の先生達からアドバイスいただいている「継続的に行うにはどうしたらいいだろうか？」という事も僕たちの課題として認識しています。そこで、僕たち高校生が中心となって、どのように借りて、管理して、今年度だけでなくずっと継続できるのかという点も含め計画を立て実行したいと考えました。

漫画を借りるためにどれだけの需要があるのか、日頃利用が多い会員の小学生に 1 人 1 人話を聞いてみました。漫画を読みたいと思う？という質問をしてみました。回答は、「沢山の文字が書いてあるのは苦手。」「本を読むのは苦手だけど、漫画には興味を持っている」「好きな漫画を te to te で他の子と一緒に読みたい」「他の会員にも自分の漫画を紹介して、面白さを共有したい」という意見がありました。また、漫画ミュージアムに行って漫画を読んでもみるのはどうだろう？と聞いてみると、「沢山知らない人がいるのは怖いし苦手」「家の人をお願いをしても忙しくて連れて行ってもらえない」「お金がかかるから無理だと思う」など漫画ミュージアムに行けない理由も教えてもらいました。

高校生チームは、小学生チームの勉強をお手伝いする事がありますが、実際読み書きが苦手な子が多いように感じるのと同時に本を好んで読んでいる子が少ないように感じています。また、メディアの時間もそれぞれが自分の好きな YouTube を見たり、ゲームをしていて「楽しいを共有する」ことも少ないように見受けられます。

漫画の需要と本に対する状況を鑑みて、ぜひジョイアーバンさんのお声がけを受けたいと考えました。

次にどのように計画を立てたらいいのか、また、どれくらい借りる事ができるのか相談したいと思い、ジョイアーバンの担当者 岩井さんに話を聞かせていただき打ち合わせをさせていただきました。

打ち合わせでは、

一括払いで 10 ヶ月分支払う ￥110000 (月額にすると ￥11000)

冊数 200 冊

実施期間 2023 年 11 月～2024 年～8 月 (今川さんに予算・期間を確認しました)

毎月 1 日から末日までを 1 クールと設定し、1 クール 200 冊まで







汚れ、破損等があった場合は別途協議

と案をいただきました。

そして、te to te で上記の案も踏まえ、管理、借りる本のチョイス、継続性など計画をたてるために話し合いを行いました。

借りに行く人

- ・安野を中心として高校生チームが借りに行く

借りに行く日

- ・毎月最終金曜日午前中（ジョイアーバン岩井さん了承済み）

SNS 投稿

- ・子ども達が主体となって活動している一つの取り組みとして紹介する

借りる本

- ・小学生チーム、中学生チーム、高校生チームの読みたい本の希望を聞く

※借りる本については、あくまでも希望であり漫画ミュージアムの推薦やご都合に合わせることを基本とする

設置場所

- ・小学生チームの本は1階の本棚。中学高校生チームの本は3階の本棚。本はどこで読んでもOKだか、必ず元の場所に戻すことをルールとする。

継続性

・木育スペースなら字が読めない子も本から逃げてた子も落ち着いて読み聞かせを聞いたり、自分から絵本を読むようになっていく。これから新しく会員になる子も、読み書きが苦手な子や本を読む事が苦手な子がいる事が想定できる。苦手を「好き」までにはならなくても「平気」「文字があってもあまり困らない」ぐらいにはなっていて欲しい。そのきっかけづくりとして漫画を取り入れたい。また、今の高校生チームが計画通り実行してみて、計画の修正などを行いながら、次の世代に「図書委員」的な感じで引き継ぎを行う。また、最低でも年1回はジョイアーバンの担当者の方と打ち合わせを行い、先方の意向も取り入れながら継続的な協力をいただけるよう実施する。

実施は11月初旬から行います。

理事の先生方におかれましては、僕たちの活動をご理解いただきたいと同時に応援いただきたいと思います。そして、推薦の漫画や本がありましたら教えていただけると嬉しいです。

どうぞよろしく願いいたします。

te to te 会員





## 職人の方との触れ合い



## 木育インストラクター養成講座受講中



## 木育インストラクター誕生！！



## 日々の遊びの中で インストラクターが活躍中！



地域のボランティアの方絵本の読み聞かせ時間。子ども達が本を選びます。その後、なんだか静かだなあ〜と思ってそっと覗いてみると、自分たちのお気に入りの場所で、漫画や絵本を楽しんでいました。





### 3.ITを活用した運動環境整備

(1)期間:2023年7月～9月の夏休み期間に設置

(2)場所:鳥取県米子市

(3)対象:不登校児童・発達障害児童を中心とした全会員

(4)内容:毎日の運動時間が不足している不登校児、発達障害の特徴として見られる体幹の弱さを改善するために、子ども達が基礎的な体力をつけるための備品の購入を行いました。不登校児童は学校での体育の経験がなく運動量もほとんどありません。また体の使い方がわからない児童や手先が不器用な子が多いのが現状です。ゲーム感覚で運動することが可能で、片足立ちできなかった子どももできるようになり、また、体力も向上しています。さらには、運動環境を整備する前は、イライラしがちな様子も見せていましたが体を動かすことで発散できるのか、落ち着き始めた子どももいます。さらには、夜中々眠れず朝起きるのが遅い子が、ゲーム運動を取り入れるようになってから、早寝早起きができるようになった子もいます。

片足立ができるようになりました！！

みんなでバレーボール！！  
ゲームでルールを知って、今では実際のバレーボールがやってみたいと運動に意欲を見せるようになりました





### 3 事業総括

#### (1) 【事業の成果】

米子市中心市街地活性化を目指す地域企業や商店街の方々から理解と協力を惜しみなくいただいた。人が苦手な子ども達が少しずつ地域の方と交流を重ねることで活動の場が増え、自分を受け入れてくれる人達がいることを知り、自己肯定感の向上へとつながっている。その成果が大きく見られたのが中学生以上の子ども達。10月の合宿の経験は彼らを大きく成長へと導いたと考えている。合宿を境に積極的に動き出し、自分たちの経験をもとに年下の会員の子どものことも考え、「今の自分にできること」をテーマに、自分たちで企画し動き出した。正直、自分の事が精一杯で年下の会員の事を考える事や、社会に出ることは当分難しいだろうと思っていた子達ただけにこの成長には目を見張るものがあった。彼らの企画を採用することで、現在本を読まない会員は0人となった。そして、何よりもゲーム依存者がいなくなったのは大きな成果と言える。

不登校の子ども達の運動不足、会員の多くに見られる手先の不器用さも大きな課題であった。幼少期に基本的な体幹を身につけているはずと言われているが、片足立ができない、お箸が上手に持てない、すぐ疲れるなど状況は様々。こどものリハビリや医師、養護学校の先生など専門家に相談し、基本的なトレーニングを日々取り入れることを提案された。とはいえ、何にせよ持続することに難しさを感じている多くの会員に対し、アプローチの仕方が難しいと考えている中で、ITを活用した運動環境の整備ができた事は非常に大きかった。持続性のない子ども達が、毎日午前中に取り組むようになった。結果、片足立ちもクリアし、疲れにくくなっている。そして何よりも集中力がついてきた。毎日の継続が持続する力にもつながり、あきらめない心を持ち学習にも取り組めるようになった子もいる。4月に会員全員が学校に戻った背景には、このことも一因していると考えている。





## (2) 【課題と対応案】

拠点での取り組みの成果は親御さんにも送迎の際や相談を受けた際にお伝えしているが、ほとんどの親御さんが驚くと同時に「家ではそんな姿を見せない」などの声上がるのが現状。

子どもが持つ力を親御さんが否定的にも捉えられる発言でもある。もしかしたら、必要以上に親御さんが世話をしすぎて子どもの力を発揮できていないのかもしれない。世話をすべき点と子どもに任せる、子どもの力を発揮できる機会を喪失している可能性も否めない。

今後は親子で参加できるイベント、また子どもの力を見ることが出来る機会を設ける。

## (3) 【次年度以降の取り組み】

これまで以上に子どもの力を知る、伸ばす機会を日常の中に取り組みながら、今回のように子どもが中心となって企画し実行できる機会をつくる。今年度の経験は、「拠点が子どもの居場所である」ことを改めて考えさせられた。こども中心であっていい、居場所を維持するのは大人の仕事。自分の居場所にするのは一人一人のこどもである。こども中心のイベント、親子イベントなどを積極的に行なっていき、子どもも親も活動の幅、考えの幅を広げられるようサポートしていく。

